

取扱いの趣旨

アルブミン定量（尿）は、高感度のアルブミン測定法であり、糖尿病性早期腎症の診断ならびに経過観察時が適応となる。当該検査の適正な測定範囲を超えたり、微量アルブミン尿が生じない傷病名に対する算定は、原則として、認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】

《令和6年6月28日》

202 アルブミン定量（尿）の算定について

○ 取扱い

- ① 糖尿病に対するD001「9」アルブミン定量（尿）の算定は、原則として認められる。
- ② 次の傷病名等に対するD001「9」アルブミン定量（尿）の算定は、原則として認められない。
 - (1) 高血圧症
 - (2) 糖尿病疑い
 - (3) 糖尿病性腎症（第3期・4期・5期）
 - (4) 腎炎（急性・慢性を含む。）
 - (5) ネフローゼ症候群
 - (6) 腎不全

○ 取扱いを作成した根拠等

アルブミン定量（尿）は、高感度のアルブミン測定法であり、微量アルブミン尿の定量に用いられ、対象となるのは糖尿病性早期腎症の診断ならびに経過観察時である。なお、この時期の一般検尿では尿蛋白は検出されないが、微量アルブミンの量と軽微な腎病変の進行度とはよく相関すること、加えて、血糖値のコントロールを良好に維持できれば病変が可逆的に改善されることより、早期腎症評価の重要な指標となっている。

一方、糖尿病性腎症が進行して尿アルブミン量が一定量を超えて一般検尿でも陽性となった状態、ならびにほとんどの腎疾患でみられる尿蛋白は量が多く、当該検査の適正な測定範囲を超えており、検査対象とはならない。また高血圧症、糖尿病疑いでは微量アルブミン尿は生じない。

以上のことから、糖尿病に対するアルブミン定量（尿）の算定は原則として認められ、高血圧症、糖尿病疑い、糖尿病性腎症（第3期・4期・5期）、腎炎（急性・慢性を含む。）、ネフローゼ症候群、腎不全に対する算定は原則として認められないと判断した。

検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	京都、徳島、三重、福井、群馬、宮崎、静岡	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	京都、徳島、群馬、静岡、三重	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	福井、宮崎、三重、静岡、徳島、京都、群馬	〃

■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名及びコメント等より、糖尿病性腎症は第1期又は第2期の記載があり、糖尿病性早期腎症の診断及び経過観察に対して当該検査を行っていることから、医学的に妥当と判断した事例

■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）

⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

2024年11月～2025年1月審査分

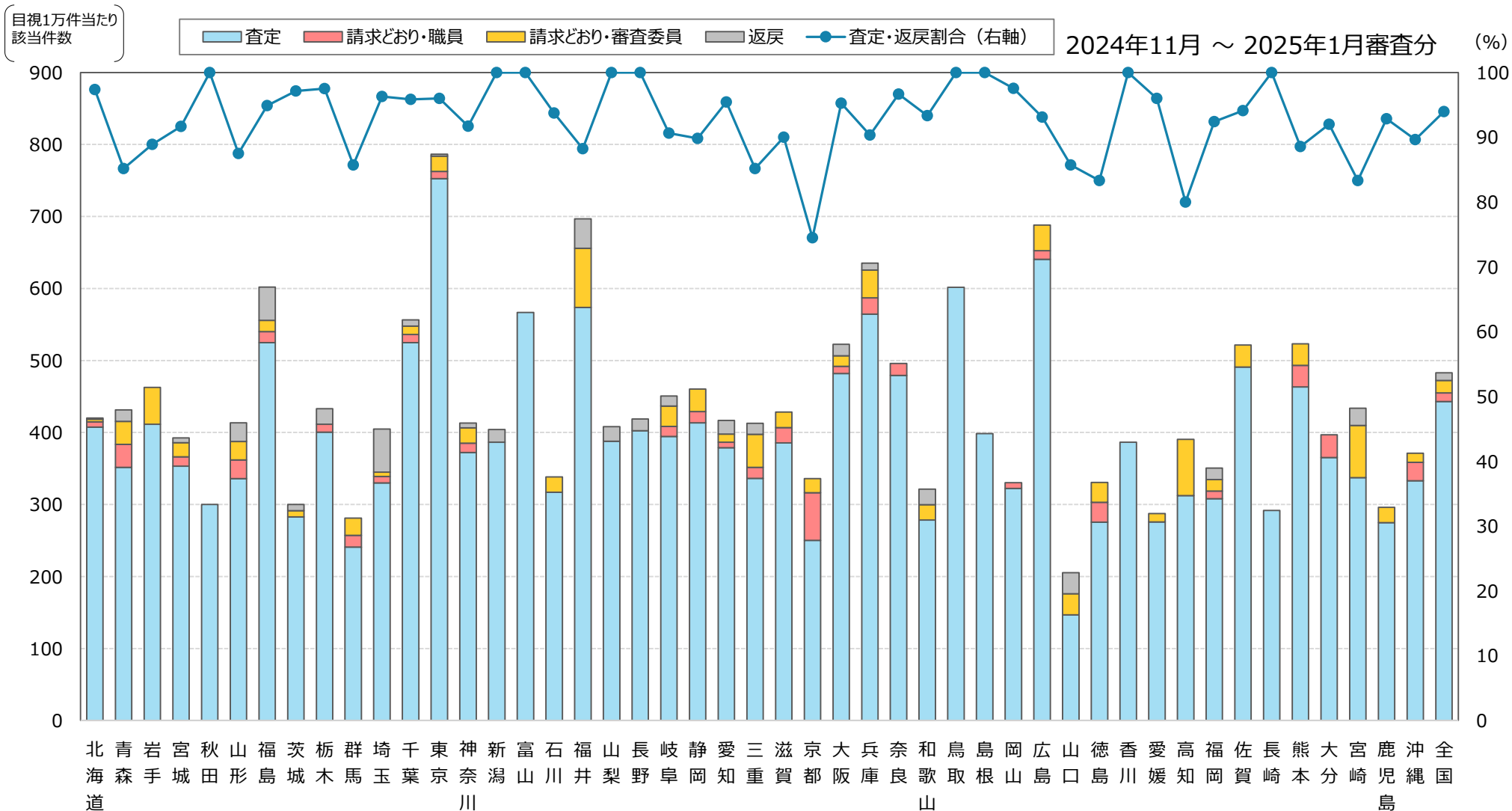
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数3,113件のうち、**取扱いと異なる審査は56件（1.80%）**
検証対象16都道府県のうち、**フォローアップ対象は7都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
01 北海道	228										
02 青森	27	25	92.59%	22	1	23	2	2	7.41%	2	0
03 岩手	36	34	94.44%	32	0	32	2	2	5.56%	0	2
04 宮城	60										
05 秋田	12										
06 山形	16	15	93.75%	13	1	14	1	1	6.25%	0	1
07 福島	39										
08 茨城	35										
09 栃木	40										
10 群馬	35	31	88.57%	30	0	30	1	4	11.43%	2	2
11 埼玉	135										
12 千葉	193										
13 東京	626	609	97.28%	599	2	601	8	17	2.72%	2	15
14 神奈川	193										
15 新潟	23										
16 富山	17										
17 石川	16										
18 福井	17	15	88.24%	14	1	15	0	2	11.76%	0	2
19 山梨	20										
20 長野	26										
21 岐阜	32										
22 静岡	59	53	89.83%	53	0	53	0	6	10.17%	2	4
23 愛知	110										
24 三重	27	23	85.19%	22	1	23	0	4	14.81%	1	3

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
25 滋賀	20	20	100.00%	18	0	18	2	0	0.00%	0	0
26 京都	51	38	74.51%	38	0	38	0	13	25.49%	10	3
27 大阪	358										
28 兵庫	197										
29 奈良	30										
30 和歌山	15										
31 鳥取	8										
32 島根	10										
33 岡山	41										
34 広島	58										
35 山口	7	7	100.00%	5	1	6	1	0	0.00%	0	0
36 徳島	12	10	83.33%	10	0	10	0	2	16.67%	1	1
37 香川	17										
38 愛媛	25										
39 高知	5	5	100.00%	4	0	4	1	0	0.00%	0	0
40 福岡	66										
41 佐賀	17										
42 長崎	19										
43 熊本	35	35	100.00%	31	0	31	4	0	0.00%	0	0
44 大分	25										
45 宮崎	18	16	88.89%	14	1	15	1	2	11.11%	0	2
46 鹿児島	28										
47 沖縄	29	28	96.55%	26	0	26	2	1	3.45%	0	1
全国	3,113							56	1.80%	20	36

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



【該当件数】高血圧症、糖尿病疑い、糖尿病性腎症（第3期・4期・5期）、腎炎（急性・慢性を含む。）、ネフローゼ症候群又は腎不全に対しアルブミン定量（尿）を算定しているレセプト件数